



京都大学経済学部 同窓会報

Kyoto University Faculty of Economics Alumni Association 2025

NO. 28





令和7年度 京都大学 経済学部同窓会 総会

日時

令和7年 10月25日(土)
14時～18時

*受付	13時30分～
*講演会	14時00分～15時00分
*総会	15時00分～15時30分
*集合写真撮影	15時30分
*懇親会	16時00分～18時00分

会場



京都大学百周年
時計台記念館 2階
国際交流ホールI・II・III
京都市左京区吉田本町・京都大学本部構内



講演

「グローバル化の時代の運とリスク： 成功の鍵を再考する」

グローバル化が進化する現代において、
成功や失敗に影響を与える「運」というランダム要因に注目し、
企業や社会の意思決定との関係を多角的に考える。

講師
京都大学大学院
経済学研究科
牧野 成史 教授



懇親会

懇親会費(お食事 着席ビュッフェスタイル)

一般 7,000円 学生特別会員・同伴者 4,000円

当日、受付にて
お納めください。

総会出席者のご確認

ご出席の回答をいただいた方に1週間前頃に確認のお電話をいたします。出席の回答を出された方で電話がない場合は、恐れ入りますが5日前までに事務局にお問い合わせください。

総会出欠の締切日

10月3日(金)
までにご返信願います。

※万が一締切を過ぎた後でも参加希望の方は事務局にご相談ください。

オンライン 経済懇話会のご案内

2023 年度より、デジタル技術を利用したサービス向上を目的に全国の京都大学経済学部同窓会員の皆さまを対象に、経済学研究科・経済学部教員が講師を務める本部主催企画「オンライン経済懇話会」を開催しております。

今後の予定

第5回

2025年11月29日(土)

川北 英隆 先生

京都大学名誉教授・成長戦略本部客員教授

演題

資産形成としての株式保有

第6回

未定

過去の開催

第3回

2024年11月16日(土)

若林 靖永 先生

京都大学名誉教授、佛教大学社会学部教授

演題

新市場創造、起業の方法論としての
エフェクチュエーション

第4回

2025年7月5日(土)

田中 彰先生

京都大学経済学研究科・経済学部教授

演題

六大企業集団の無機能化
一踊り場の日本のビジネスグループ

参加資格

1. メールアドレスを登録済



未登録または変更がある方は左のQRコードのリンク先からご登録ください。登録後に自動返信メールが届きます。届かない場合は登録に失敗している可能性がありますので、ご注意ください。登録がうまくいかない場合は同窓会事務局にお問い合わせください。

◀メールアドレス登録のQRコード

2. 過去3年間に一度でも年会費をお支払いいただいた「会員」

※以上の2条件を満たす方には、開催日の1カ月前までに開催ご案内および参加用 Zoom リンクをメールにてお送りいたします。

※参加にはインターネット（ブロードバンド推奨）に接続した PC、タブレット等が必要です。ウェブブラウザから参加できますので、Zoom アプリケーションをインストールする必要はございません。

ご挨拶

10月19日開催の同窓会総会において、相京前会長の後任として、会長に選任されました柄澤康喜(カサワヤスヨシ)です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は、1950年に長野市に生まれ高校時代までを長野で過ごしました。京都には母の実家があり、祖父母が下賀茂で暮らしていました。高校の修学旅行で京都を訪れた際、祖父母と交わした「大学は京都に来る」という約束を果たすことができ70年に京都大学経済学部に入學しました。当時は学生運動の渦中にあり、大学閉鎖もしばしばで、京都らしい居酒屋や喫茶店等での学外勉強が盛んでした。

経済学者で故人の池尾和人さんとの交遊もそのころで、後に当社の持株会社の社外役員にもついていただきました。彼からは、「柄澤さんは、あまり経済学の勉強に熱心ではなかったけれど、経済学は極めていくと面白いんですよ」と茶目っ気たっぷりにコメントされました。

75年に住友海上に入社。最初の勤務地は大阪。ロンドン派遣を経て以来東京の本社で主に企画部門で過ごしました。経営企画部では、経営企画の立案、合併・統合（三井住友海上、MS&AD）、生保会社設立、海外M&A。損保業界の企画では、保険制度の改革・法改正、日米協議等を担当して2010年に三井住友海上の社長、14年には持株会社MS&ADのグループCEOを兼務、夫々会長をへて今年6月に退任し、現在、三井住友海上の常任顧問を務めています。

同窓会との縁は、当時東京支部長の畏敬する宇野理事からのお誘いで顔を出すようになり、一昨年からは東京支部長を務めています。東京支部は荒木常務理事のリーダーシップと若手の活躍で、年代・性別の多様性をいかした活性化が進みつつあります。

京都大学経済学部とは、大学の保険講座の継続という要請に応じて、2017年に日本生命の筒井会長と寄付講座を開設いたしました。現在は持株会社のMS&ADが継続しています。

地球環境問題等解決すべき社会的課題は多く、そのためには、教育・人材育成は最重要課題です。大学はグローバルベースでの優位性の確保、多様性の拡大、リベラルアーツの充実等に向け改革を進めています。

同窓会としては、その目的である「大学との連携」「会員相互の親睦」を会員の皆様の協力を得ながら進めていく中で、いささかばかりとも貢献できるよう努めてまいりたいと考えております。

ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



京都大学経済学部同窓会会長（第13代）
三井住友海上火災保険株式会社 常任顧問

から さわ やす よし
柄澤康喜

教員の紹介



岡 敏弘 教授

今年3月末をもって京都大学を定年退職しました。経済学研究科の教員・職員のみなさまにはたいへんお世話になりました。6年という短い期間でしたが、継続して公共政策大学院と経済学研究科の両方を担当させていただいたことは幸いでした。公共の職業人を含む学生と経済学研究科の院生とが混ざった自主ゼミを、3年めの終わり頃から持つことができ、大変おもしろく充実した日々を送りました。後半の3年間は優れた院生に恵まれて、やりたいと思っていた研究ができました。このような素晴らしい教育と研究の環境をいただいたことに感謝しています。

4月からは同志社大学商学部・商学研究科に勤務します。私立大学は初めてで、違いを味わいたいと思います。今後ともよろしく願っています。

ケヴヘイッシュウイリ・ルースダン 講師

2025年3月31日 退職

・京都大学大学院経済学研究科・経済学部 講師

岩瀬 祐介 講師

2025年3月31日 退職

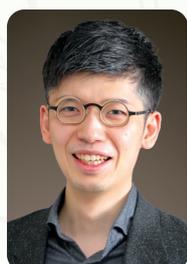
・京都大学大学院経済学研究科・経済学部 講師

・京都大学公共政策大学院 講師 (併任)



Professor
Alireza NAGHAVI

I am delighted to join the Graduate School of Economics at Kyoto University and feel privileged to be part of the university's distinguished educational and research environment. After nearly 20 years at the University of Bologna, I look forward to this new cultural and academic experience in Japan. My research focuses on international trade and economic development, with particular interest in topics such as intellectual property rights, global value chains, migration, innovation, and the economics of religion and culture. My work has been published in journals including the Economic Journal, Journal of Economic Growth, Journal of International Economics, and Journal of Development Economics. I have served as principal investigator on various projects, such as INGENIUS on global innovation networks funded by the European Commission, and a recent national project funded by the Italian Ministry of Education on "New Protectionist Policies: Political Determinants and Economic Consequences." My teaching has primarily focused on international trade, and I look forward to contributing to both research and education at Kyoto University.



山崎 潤一 准教授

初めまして、山崎と申します。元は三河の生まれで、東京大学で修士、ロンドンスクールオブエコノミクスで博士を取得、2017年に神戸大学に着任後、2024年10月に経済学部へ准教授として着任しました。

私の元々の専門は開発経済学ですが、今はその中でも日本経済史や都市に関する実証研究を多く行っており、それらに関する授業を担当する予定となっています。特定の専門や手法に固執せず、時々で重要だと思う課題に自分の強みを活かして取り組んでいければと思っています。

昨今の大学を取り巻く情勢は決して穏やかなものではありませんが、京都大学には古き良き大学らしい気風を学生さんの話の中に感じ、嬉しくなったことがあります。自主性を重んじる文化を大切にしつつ、研究や教育活動に邁進していこうと思っています。

卒業生だより



昭和 62 年卒
浅山 理恵

「黄金の3割」、そしてその先を目指して

1987年卒業、男女雇用機会均等法施行直後、いわゆる「均等法一期生」としてキャリアをスタートしました。学生時代、当時の三重苦「女子・一浪・自宅外」である自覚も乏しく、劇団の裏方スタッフとして熱中していた私を拾ってくれたのが、本山ゼミの先輩がいた住友銀行（現・三井住友銀行）でした。体力はありそう、と踏んでくれたようです。女性採用のない企業も多く、優秀な女性は、公務員や師士族、外資等を目指すとされていましたが、私は自身の勉強不足を棚上げ、男性と同じく企業で働き続ける選択は、かえって希少なチャレンジかも、と都合よく整理していました。

入社後は男性と同じが前提。厳しい時代でしたが、インターネットの黎明期で「進取敢為」の社風もあり、新しい企画を任されるのも楽しい。結婚後もあくせく働くうち、気づけば30代も半ば。いざ子供は？となると、人にも言えず悩むばかりでした。金融危機を超え、社会も会社も変わってきたと感じたのは新世紀に入ってから。高齢&超高齢出産でしたが、幸い一男一女に恵まれました。その後、営業現場と人事やCX部署など本社を歩き来し、女性初の管理職ポジションや経営の役割の中で、人と組織について観察し考えるようになりました。

ジェンダーギャップへの取組は、自分事から仕事にもなり、いつの間にか社会課題ともなりました。確かに活躍する女性は増え、世の中は進んできてはいます。が、均等法成立から早や40年、そして人口減少が進む我が国では、課題の相対的な重要度は大きくなる一方とも感じています。

入学時、女性は200人中12人（6%）、共学校出身の私も「京大だし」とそう気にも留めず、会社同期400人超の18人（4%）も、「そんなもの」と受け止めていました。仕事も人生も経験を重ねた今は、「なぜこうなのか？」スルーせずきちんと向き合い、シンプルに考えることが大切だと思っています。

ノーベル賞でジェンダー格差がフォーカスされる等、経済ははじめ多くの分野で真因究明が進み、解決アクションへの示唆も出てきています。様々な組織で皆が知恵を捻り、まずは「黄金の3割」を超えてみることで、見えてくる世界や実現できるイノベーションもあるのではないのでしょうか。私ももう暫く企業活動や京大「この会」等のネットワークを通じて、そして親としても次世代への貢献を果たしていきたいと考えています。

*この会=京大同窓会 HP ご参照



平成 15 年卒
山本 典正

日本酒業界と私

和歌山県の酒蔵の長男として生まれ、中高は智弁学園和歌山高校で応援団員として鍛錬をつみ甲子園で応援をする機会に恵まれました。2003年に京都大学経済学部経営学科を卒業しましたが、在学中は麻雀ばかりの不真面目な学生生活を途中まで送ってました。これではだめだなと漠然と思っていた頃に坂出健教授のゼミの末席に加えていただくことができ、それをきっかけに一念発起し学業に向き合い充実した学生生活となったのを記憶しております。

早くから経営者になることに関心があったため大手金融や商社などに就職を決めていく同級生が当時は多い中でベンチャー企業への就職活動を行い、東京の人材系ベンチャー企業にお世話になりました。

社会人の「いろは」と起業家精神を学びましたが、家庭の状況もあり20年前に平和酒造に戻ることに。起業を夢見ていた私としては志半ばに東京を去ることに「都落ち」の言葉が頭をかすめなかったわけではありません。

1972年をピークにして約20%にまで衰退している斜陽産業の日本酒業界ですが、廉価品の日本酒がメインだった弊社は経営課題が当初多くあり

ました。

「紀土」という高品質ブランドを立ち上げ国際コンペでグランプリに輝くなど対外的な評価をいただき売り上げを4倍近くにまで成長、高付加価値商品が製造のほとんどを占める状況に近年はなりました。

また若い醸造家の育成に注力し、『個が立つ組織』（日経BP）を始めこれまでに3冊の著書出版するなど組織づくりで注目をいただけるようになりました。これも在学中の学びや社会人時代の経験が大きかったように思います。

東京・兜町にブルフリーパブスタイルのどぶろく醸造所を2022年開業しましたが今年4月、大阪・難波にも二店目となるどぶろく醸造所を開業するなど日本酒の可能性を広げる活動をしています。

20年前に夢破れて実家の酒蔵を継いだ私ですが、在学中に考えていた以上に日本酒業界に将来性を感じています。現在弊社の海外輸出割合は25%、衰退マーケットにとどまるのではなく成長マーケットの中で業界のパイ全体を増やしなが自分たちも成長していく。そのような志を持ち続け一歩一歩進んでいきたいと思っています。



平成 24 年卒
青野 諒

自分だからできること

卒業後総務省に入省して以来十年ほど、地方行財政を中心に様々な経験をしてきました。ここまではよくある話ですが、その後の私のキャリアは少し独特で、現在は総務省を退職しカリフォルニア大学サンタバーバラ校にて経済学博士課程に在籍する大学院生をやっています。言わずもがな研究に自律は不可欠であります。自由で広大な海の泳ぎ方は京大で学び得た大きな財産の一つであり、ともすれば溺れてしまいそうな私を日々支えてくれています。

転向のきっかけは、サンフランシスコでの在外公館勤務にて米国経済の力強さを目の当たりにしたことでした。日々刻々と変化し成長をもたらすシリコンバレーのエコシステムは、日本のそれとあまりにも異なっていました。このことは、私に相当な焦燥感を覚えさせると同時に、その好奇心を大いに掻き立てました。この差は何によってもたらされ、如何なる帰結を生むのか。政策はどう関与すべきなのか。考えるうちに、政策実務の一端を担ってきた人間が腰を据えて研究してみるのも面白いのではないかとこの想いを抱き、遅まきの進学を決意するに至りました。修士号を持たない自分が、家族を養いながら博士号を取得するには

どうすればよいか。米国の経済学博士課程は修士博士一貫教育で学費と生活費を支給してくれると知ってから、学部ゼミの恩師である諸富徹先生をはじめ各方面の方々にお力添えをお願いし、できるだけ多くのプログラムに出願しました。そうして運良く現在の所属に拾っていただいた次第です。

今、米国は大きな変化の中にあります。賛否両論あり、また、これが一過性のショックであるのか、長期的で内生的なものなのかも判然としません。しかしながら、政策や環境の変化は、いずれ数字として現れ、良くも悪くも新たな分析材料をもたらします。この時に、理論に立脚しつつ現場レベルでの影響に思いを馳せる、自分らしい視点を大切に物事を見極めていきたいと思っています。



平成 31 年卒
村上 彩子

Enjoy yourself!

大学卒業後、地元神戸のデザイン企業に就職。業務の1割は、会社の本業である紙媒体の編集対応。残る9割は、私が学生時代、インターンとして参画していた新規事業「コワーキングスペース」のコミュニティマネージャー（運営責任者）。主な業務は、日常のスペース運営、経理、週1で開催するイベントの企画、営業、HPの更新、3媒体のSNS運営、インターン管理、その他会員様とのやり取り等々。実に多くの業務を、凝縮して経験させていただいた。

また、当時スペースに入会されていた皆様は、起業家、経営者、公務員、士業従事者、デザイナー、ライター、大手企業会社員、と業種も多岐にわたり、私の思考力に多大な影響を与えていただいた。

その後、転職。生まれ育った街が大好きで、この地から発信される新しい物事に携わりたいという思いは変わらず、神戸本社の企業へ。インターネットを介し、全国の施工店と連携しながら、エクステリア（外構工事/外壁塗装）の販売、施工をおこなう、デジタル×外構の世界へ足を踏み入れた。

営業、販売企画等、入社後、数多くの部署と業務を経験させていただいた。現在は、営業課ならびに外壁課の筆頭課長として、マネジメント業務をおこなっている。

世の中に「ハウスメーカー」と呼ばれる会社は

多々ある。だが、未だ「ガーデンメーカー」と呼ばれる種類の会社は無い。

今、私は「ガーデンメーカー」を目指す会社で、進化のド真ん中にいられる幸せを感じている。自分ができることを見つけ、挑戦し、笑顔があふれる住空間の提供者とは何か、という永続的なテーマに向き合いたいと思っている。

大学時代は、素敵な仲間と、生来の特技/趣味である、スポーツや音楽に没頭し、そして多くの土地へ旅行に出かけ、よく遊び、よく行動し、そして、多分、少しは…勉強した。

「現地現物主義」「高密度運営」を2大信条とする田中ゼミに在籍し、フィールドワークを通じて、たくさんの企業に赴き、現地の声を見聞きし、考え方を学んだ時間は、有意義だったと思い起こす。

京都大学といえば「自由」の2文字というイメージは今も昔も健在かと思う。

私にとつての「自由」とは、無限にある正解の無い回答のうち、どれを選択しても、自己責任で、楽しみながら進んでいくマインドの源である。

私は、これまで関わってくださったすべてのの方々、さまざまな経験に対する感謝の気持ちを忘れず、そして今後、新たに出会う人々、得られる経験に、真摯に向き合い邁進できる、そんな自分自身でありたい。

出版案内

データサイエンスの経済学

調査・実験，因果推論・機械学習が拓く行動経済学

京都大学大学院経済学研究科・経済学部 教授
依田 高典

デジタル化の進展に伴い、ビッグデータやAIの活用が加速する中、京都大学経済学部ではこの流れに対応し、データサイエンスを選択必修科目としました。また、私自身が「調査実験経済学」を新たに開講し、エビデンスを重視する経済学の重要性を強調しています。本書では、データ革命を背景に、実証経済学がどのように発展してきたのかを、私自身の20年間程度の研究成果を基に解説しています。これらの研究成果は、全米経済学会の機関誌をはじめとする国際的なトップジャーナルにおいて出版されています。

第I部では、「アンケート調査の経済学」と題し、ノーベル経済学賞受賞者ヘックマン氏とマクファデン氏が開発したマイクロ計量経済学に基づく離散選択分析とコンジョイント分析について説明しました。離散選択分析では、人々の選択行動を非線形回帰モデルを用いて分析し、企業や官庁における幅広い利用事例を紹介しています。また、コンジョイント分析では、仮想取引データを用いて表明選好を推定する手法を取り上げ、特に喫煙や禁煙に関する研究での活用例を示しました。

第II部では、「フィールド実験の経済学」と題し、因果推論の重要性とその具体的な応用方法について解説しました。ノーベル経済学賞受賞者アングリスト氏らが開発した因果推論の手法や、バナジー氏らが無作為比較対照実験を活用して行った研究を基に、強制型フィールド実験と承諾型フィールド実験の違いを説明しています。特に、承諾型フィールド実験では、自己選抜による介入効果の推定が可能である点を指摘し、経済産業省が実施した具体的な事例を紹介しました。

第III部では、「因果推論・機械学習の経済学」と題し、エイシー氏らが開発したコウザル・フォレストを取り上げました。この手法は、個々人の異質介入効果を推定し、ポリシー・ターゲティングへの応用を可能にするものです。また、北川透氏らが開発した経験厚生最大化についても解説しました。このアルゴリズムは、異質介入効果を推定することなく直接社会厚生を最大化するものであり、限界介入効果に関する理論的な内容や環境省の事業における具体的な活用例も紹介しています。

ポリシー・ターゲティングにおいては、異質介入効果を推定するか否かによって手法が異なりますが、いずれの手法においても社会実装の可能性を重視している点が共通しています。本書では、これら最新の手法を活用した具体例を通じて、21世紀における経済学の新たな展望を示し、社会的影響力の高い研究を目指した内容を提示しています。



著：依田 高典

『データサイエンスの経済学：調査・実験，因果推論・機械学習が拓く行動経済学』岩波書店
259pp 2023年10月

京都大学経済学部同窓会 VISA カード入会のご案内

京都大学経済学部同窓会は、三井住友カード株式会社と提携し、京都大学経済学部卒業生のみが加入できる「VISAカード」を発行しております。デザインは経済学部70周年記念に使用した写真(飯野春樹氏撮影)を図案化したもので、同窓会は、このカードの発行により、カード利用額の一部を提携手数料として受け取ることができ、財政基盤確立の一助となっています。

会員の皆様におかれましても同窓会の年会費をこのカードにより自動振替^(※1)とすることができ、大変便利かと存じます。カードの年会費が無料になる場合もございます。詳しくは0120-816-437までお問い合わせください。

どうか本カードの趣旨をご理解のうえ、お申込み頂ければ幸いです。

(※1) 自動振替を希望された方のみ

京都大学経済学部同窓会 理事長 若井克俊



ご入会方法

VISAカードの申込方法がオンラインのみとなりました。ご入会は以下のいずれか一つを選択し、お申し込みください。



1 QRコードからのお申し込み

こちらからアクセスしていただきお申し込みください→

2 URLからのお申し込み

<https://www.smbc-card.com/nyukai/affiliate/dokocub/index.jsp>

こちらのURLからアクセスしていただきお申し込みください。

3 ホームページのバナーからのお申し込み

ホームページのVISAカード入会のバナーをクリック。ログイン画面が出てくるので、ユーザー名とパスワードを入力してクリック。



入会特典

対象者

…本人以外でも適用になる場合

総合博物館(京都大学)

- ・観覧料無料

白浜水族館(京都大学)

- ・入館料無料

山ばな 平八茶屋

対象者 5名まで適用

- ・7,000円の昼懐石以上の懐石料理注文者に食前酒1杯無料サービス

ワタベウエディング(株)

対象者 カード会員本人と家族(2親等以内)

- ・国内、海外挙式パッケージより5%割引(旅行会社などの取引先販売店による挙式申込は対象外)
- ・貸衣裳(単品)20%割引(衣裳込みパッケージ、衣裳予約システムおよび現地レンタル衣裳は対象外)
- ・京都和婚のみ特別特典あり(詳しくは京都本店ご来店時にお問い合わせください)
- ・販売衣裳(単品)10%割引(衣裳込みパッケージは対象外)

リーガロイヤルホテル京都

- ・レギュラーフロア ラグジュアリーツインの客室利用料金を優待料金にて提供
- ・直営レストラン5店舗での利用料金5%割引
- ・レストラン利用時に、誕生日の者に食前酒1杯(上限4名まで)と記念写真を無料提供

酒造加越(造り酒屋)

- ・「月のかがやき酒セット」京大特価6,000円(税込、送料・代引手数料無料)をさらに100円お値引きにて提供
 - ・酒峰加越 朱ノ吟 大吟醸酒 720ml ・加賀ノ月 満月 純米吟醸 720ml
 - ※「月のかがやき酒セット」はメール注文のみのお得な特別セット(メール注文の際に、京都大学経済学部同窓会VISAカード会員である旨をご記載ください)

連絡先 電話：0761-21-3323(平日 9:00~17:00) ※お問い合わせ窓口 メール：kaetsu@kanpaku.co.jp

加越食品

- 「加越食品のこだわりセット」(税込、送料・代引手数料無料)を2,200円にてご提供
 - 少量生産だからこそ実現、大量生産では味わいにくい「食感のおいしさ」の加越のたれ
 - ・風味食感 焼肉のたれ 500g ・風味食感 おろしだれ 500g ・風味食感 みそだれ 500g
 - ※ご注文はメールにてお願いいたします。(メール注文の際に、京都大学経済学部同窓会VISAカード会員である旨をご記載ください)

連絡先 電話：0761-21-3324(平日 10:00~17:00) ※お問い合わせ窓口 メール：kaetsu@kanpaku.co.jp

在学生イベント! 2024

2024年6月27日(木)に、百周年時計台記念館国際交流ホールで「在学生イベント!2024」を行いました。経済学部生なら誰でも参加できる講演会と、同窓会学生特別会員が参加する交流会からなり、在学中から同窓会を身近に感じてもらう趣旨で行っています。



津島彩紀子氏

【講演会】

2013年に経済学部を卒業され、現在は住友生命保険にお勤めの津島彩紀子さんを講師にお招きし、「これからの企業内キャリア形成—組織主体から個人主体へ—」という題でご講演いただきました。はじめに若井克俊経済学部長(同窓会理事長)の挨拶があり、学生企画委員の廣松航輝さんが司会・進行をつとめました。

講演では、さまざまな職種がある企業内でのキャリア形成にあたり、企業や従業員に求められる役割について、住友生命を事例にお話しいただきました。従来は企業がキャリア形成を主導する形が一般的でしたが、企業と従業員の間でマッチング不足が起きやすいことから、近年では企業と従業員の相互関係を通じたキャリア形成を目指す潮流があります。企業側は、高い成果を出した従業員の行動や思考を指すコンピテンシーを提示したり、研修や休暇制度を通じてキャリア形成を支援したりして、従業員に求めるスキルを明確にする一方、従業員は自分のやりたいことや目標を明確にし、研修制度や実務経験を活かして成長していくことで、自立的にキャリアを形成していくことが期待されるということです。

津島さんは総括として、やればできるという自信と、成長しようとする謙虚さのバランスの大切さを強調し、自立的なキャリア形成が仕事の満足度を高め、豊かな人生を送ることにつながるとして、学生のうちからキャリアについて意識することを呼びかけました。企業内のキャリア形成に主眼をおいたお話でしたが、就職活動や将来設計に通じる部分もあり、学生にとって興味深い内容だったのではないのでしょうか。質疑応答では、クラブで部長を務める学生が後輩への仕事の任せ方を尋ねるなど、各自の立場や関心に基づく積極的な質問が多く、津島さん自身の経験も踏まえて丁寧にお答えいただきました。

【交流会】

講演の後は学生会員が参加する交流会がありました。参加者はいくつかのテーブルに分かれて、津島さんや経済学部の教員を交えて夕食をとりました。食事の後は学生企画委員の磯村健斗さん、塚田風磨さんが京都大学に関するクイズを出題し、各グループで正解数を競いました。京大出身者のYoutubeチャンネルの登録者数や、校舎の建築年代を問うユニークな問題もあり、学生企画委員の小野莉玖土さんの司会でたいへん盛り上がりしました。学生企画委員の廣松航輝さん、三船あか梨さんを中心に集計し、上位4グループにはたこ焼き機やオーブントースターなどの賞品を差し上げました。最後は参加者全員で写真撮影を行い、記念品のボールペンをお渡しして散会となりました。回生や教員・学生の垣根を越えて交流を深める貴重な機会になったと思います。

イベント実施にあたって、準備段階の連絡や調整、総括などご尽力くださった企画委員長の諸富徹教授、岩島史講師、同窓会事務局の田村利恵さん、滝川奈緒子さんに改めて感謝申し上げます。また、学生企画委員のみなさん、企画、準備、当日の設営や司会進行、お疲れさまでした。2025年度も新たな企画を用意して開催する予定です。多くの学生の参加をお待ちしております。

塩出侑大(学生企画委員)



令和6年度 同窓会総会開催報告

令和6（2024）年度同窓会理事会・総会（講演会・懇親会）は2024年10月19日（土）、前年度に続いてホテルグランヴィア京都（京都駅ビル内）にて開催されました。

理事会

正副会長6名、理事18名（代理含む）、監事2名が出席しました。若井克俊理事長（経済学研究科長）のあいさつで始まり、令和5年度事業及び会計報告（田中彰常務理事・副研究科長）、同会計監査報告（原田佑嗣監事、H18）、新役員の選出、令和6年度予算案、規約改正案（以上、田中常務理事）の報告・提案について、いずれも拍手をもって承認されました。続いて若井理事長・田中常務理事より今後の活動方針として財政再建計画の提案があり、熱心な意見交換をへて承認され、総会に附議されることとなりました。

講演会

講演会は原良憲京都大学名誉教授・大阪成蹊大学データサイエンス学部副学部長・教授より、「人口減少・AI活用時代における人的資本経営」と題してなされました。

人口減少時代において、ChatGPTなど生成AIによる技術革新は、経済・社会生活に多大な影響を与えています。AIを上手に活用できれば、人材不足を補い、生産性を向上できますが、持続可能な価値の源泉は人材にあります。このような時代の人的資本経営について解説をいただき、質疑応答も活発になされました。

総会

総会は、6月に逝去された故・辻井昭雄顧問・元会長（S31、享年91歳）への黙祷から始まり、続いて相京重信会長（S47）が在任の4年間を振り返ってあいさつをされました。その後、相京議長の進行の下、会計報告、新

役員の承認、規約改正、今後の活動方針（報告・趣旨説明はいずれも田中常務理事）の審議が進み、すべての議題が円滑な進行のうちに承認されました。

本総会にて、柄澤康喜会長（東京支部長、S50）、成田勇一郎副会長（北海道支部長、S42）、梅谷幸弘副会長（近畿支部、H3）、と6名の新任理事が新たに選任されております。また、今回の規約改正は現行の運用実態を規約の文言に反映させるものです。

理事会・総会で承認された令和5年度決算、本部役員、規約、今後の活動方針（財政再建計画）については本誌当該ページをご参照ください。

懇親会

集合写真撮影の後、会場を移し、田中常務理事の司会により懇親会が始まりました。原名誉教授と11名の出席教員が紹介され、柄澤新会長による開会あいさつに続き、会場最年長・四方八洲男様（S38）のご発声により乾杯となりました。

中盤では邦楽サークル・京都大学観風会の皆さんに「六段の調」「千鳥の曲」「地唄・櫻川」「夜叉舞」を演奏いただき、美しい調べを一同堪能しました。

梅谷新副会長（近畿支部長）のスピーチに続いて若井理事長による閉会の辞をもって、盛況のうちにお開きとなりました。

なお参加者全員に記念品として同窓会特製ミニノートをお持ち帰りいただきました。

田中 彰（常務理事、経済学研究科副研究科長・教授）



観風会の邦楽演奏



原名誉教授

ソフトボール部

経済学部 2回生 山口 あかり

1限の授業が始まる前に吉田グラウンドでスポーツをしているところを見たことはあるでしょうか。そのスポーツをしているのは、我々京都大学体育会ソフトボール部です。今回はソフトボールについて、そして弊社について少しでも興味を持っていただければ幸いです。

まずソフトボールそのものにあまり馴染みのない方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。「野球とほぼ一緒でしょ?」。そんな声が聞こえてきそうです。実際1チーム9名でプレーしたり3アウトをとって攻守交替したりするなど、基本的なルールに野球との大きな違いはありません。一目で分かる違いといえばソフトボールならではの黄色いボールとその投げ方くらいでしょうか。しかし野球との違いは他にもあります。そのうちの一つは塁間距離です。ソフトボールにおける塁間距離は野球の塁間距離の約3分の2であり、外野フェンスまでの距離も76mほどです。この塁間距離の狭さゆえに、たとえ足が速くなくても走り方を工夫することでセーフになったりセーフティバントが決まりやすかったりと多様な攻撃の仕方が可能となり、ソフトボールならではの面白さを生み出しています。

ここからは我々京都大学ソフトボール部の魅力について紹介します。まずは国公立大学のなかでも上位に入る強さです。2023年には七大戦で優勝し、2024年の春季リーグでは13年ぶりの関西リーグ1部昇格を果たしました。同年の秋季リーグにおいては1部残留には届かなかったものの、強豪の私立大学を相手に引き分けとなった試合もありました。現在では再び1部に残留する



1部昇格時のチーム写真

こととインカレに出場することを目標に日々練習に励んでいます。2つ目の魅力は弊部の学年の垣根を超えた仲の良さです。2025年3月現在で弊部の部員はマネージャーを含めて21名であり、硬式野球部や他の体育会に所属する部と比べて決して多くありません。しかし、それゆえに部員同士のコミュニケーションは活発です。普段の練習では先輩が後輩にバッティングについてアドバイスしたり、プライベートなことを話したりする姿が見受けられます。こういった日々の交流がチームスポーツとして互いに能力を高めあい、チーム全体で強くなっている秘訣でもあります。

ソフトボールについて、そして弊社について少しでも魅力を感じていただけたでしょうか?我々の活動に関しては弊部の公式ホームページやインスタグラムを通して随時発信しています。興味を持ってくださった方はぜひのぞいてみてください!



試合に臨むプレイヤーたち



本塁打を放つプレイヤー

諸富ゼミの活動報告



令和4年入学 石黒 剛

諸富ゼミでは、財政学や環境経済学に関する幅広い分野の学習と研究を行っています。ゼミは毎週水曜5限に活動しており、前期は財政学・環境経済学に関する書籍の輪読を行いながら、3回生はグループ論文執筆に向けたテーマ設定を進めています。今年度は、財政班が「北九州市の産業転換と学術研究都市」、環境班が「燃料価格抑制のCO2排出量への影響分析」をテーマに研究を行いました。

研究の成果は、インゼミの場で発表します。今年度は、11月に慶應義塾大学の井手ゼミと、12月に京都府立大学の川勝・三宅両ゼミとインゼミを行いました。両インゼミとも、今年度は先方の大学へお招きいただき、お互いの研究に対して忌憚なき意見交換を行うことができました。両大学の皆様には改めて御礼申し上げます。

諸富ゼミでは、諸富先生のご指導のもと、自由闊達かつ学生の自主性を尊重する環境で、思う存分関心のある分野を学ぶことができます。研究のテーマはもちろん、ゼミの運営、年二回の合宿先さえも我々学生で話し合うことができます。今年度は6月に福井県大野市で地下水の利用について学習し、9月には北九州市で学術研究都市の取り組みを学びました。ゼミの運営に関しても、今年度は財政学の書籍の輪読に、ディベートの時間を試験的に取り入れました。学生が主体的に試行錯誤をしながら、学びをより深めようとする気風を日々感じます。

こうした学生の主体性をサポートしてくれるのが、年次を超えた学生の強いつながりです。前述したように、現役の学生同士は、年二度の合宿で親睦を深め、かつ共

同研究に向け互いの興味をすり合わせることでできます。さらに、財政・環境各班で週に一回行うサブゼミでは、諸富研の博士課程の先輩方がTAとして、年間を通して研究や学習に関するアドバイスをくださいます。

諸富研同窓生のつながりは、京大の中だけにとどまりません。諸富研では年に一度、同窓会『諸水会』を開催しています。今年度は直近の三月に諸水会を開催し、政財界で活躍される同窓生の講演や座談会が行われました。我々現役の学生にとっても、社会で活躍されている20年以上年上の諸先輩方と同じ机を囲んで歓談する、とても貴重な機会になりました。

最後になりますが、諸富ゼミの学生としての一年は、知的好奇心と学びに溢れていたと振り返って思います。お世話になった先輩方を送り出し、新3回生を10人迎えて始まる2025年度のゼミも、今から楽しみでなりません。



東京支部からの便り

従前より、シニア世代に偏っていた同窓会イベントの参加者を、幅広い世代に広げるべく、各種取組を進めてきたが、昨年6月に開催した常任理事会では、参加者を若手に限定したイベントを開催することの合意がなされ、実施に向けた活動を開始した。

9月に実施した本イベントのテーマは「Empowering next business leaders」。各界で活躍中の先輩会員^(※1)を囲むワークショップを実施。参加者を45歳以下に限定するというチャレンジングな企画だったが、20代(23名)、30代(24名)の申込みにより、締切1週間前には定員50名が満席に。イベント会場(iu 竹橋サテライトオフィス)を無料で提供くださった中村伊知哉iu学長(1984卒 東京支部常任理事)と柄澤康喜東京支部長の挨拶の後、ビジネスリーダー単位の8テーブルの座談会がスタートし、それぞれ大いに盛り上がった。

※1 柄澤康喜氏(1975卒 三井住友海上火災保険(株)常任顧問)、荒木隆司氏(1981卒 (株)インテラセツト代表取締役)、中森真紀子氏(1987卒 中森公認会計士事務所代表/伊藤忠商事(株)社外取締役)、岡崎健氏(1988卒 (株)ファーストリテイリング取締役グループ上席執行役員兼CFO)、増田真男氏(1991卒 (株)日本政策投資銀行常務執行役員)、篠原靖直氏(2001卒 三菱地所(株)DX推進部ユニットリーダー)、瀬尾萌氏(2008卒 JPインベストメント(株))、矢野健太氏(2012卒 (株)パンフォーユー代表取締役)

1月に開催した新春経済交流会は、「世代と分野を超えて考えるDE&I」というテーマで、各世代の様々な分野で活躍する女性会員^(※2)によるパネルディスカッションを実施。このイベントの女性参加者比率は35%と同窓会史上の最高を記録した。

※2 絹川幸恵氏(1988卒 みずほビジネスパートナー(株)代表取締役社長)、盛玲子氏(1994卒、(株)三井住友銀行 国際金融法人部長)、村上沙穂氏(2009卒、(株)DG Daiwa Ventures アドバイザー)、山村萌氏(2016卒、(株)シナモン)、久下舞子氏(2023卒、有限責任監査法人トーマツ)、モデレーター:大澤和明氏(2016卒、(株)スマートプラスクレジット代表取締役)



新春経済交流会 モデレーターとパネリスト



若手向けイベント 集合写真

本年5月に開催した支部総会は、湊長博総長による《10年ぶりの現役総長講演》で幕を開けた。本講演は「老いと病い 超高齢化社会を迎えて」という演題で、医学的見地のみならず、哲学的な視点等をも織り込んだ、大いに示唆に富む内容で、多くの聴講者に感銘を与えるものだった。



湊長博総長ご講演



柄澤康喜支部長ご挨拶



若井克俊理事長ご挨拶

学歌斉唱とともに始まった第二部の総会では、まず柄澤康喜支部長から、支部活動の更なる拡大に向けた抱負を語っていただき、続いて経済学研究科長及び同窓会理事長である若井克俊教授から、今回参加された草野真樹副研究科長・教授の紹介の後、経済学部の現況及び取組み中の課題などを説明した。

次に荒木常務理事からは、前期決算報告、この1年の活動及びサステナブルな同窓会運営を企図したDX化と各種イベントをプロジェクトベースで行うことの説明があった。続いて成長戦略本部の鈴木卓馬氏より同本部の各種の活動報告がなされ、その後、浅山理恵常任理事（1987卒）によるこのえ会の紹介と全員での記念撮影を行った。

第三部となる懇親会は、最年長参加者である合田隆年氏（1960卒）による乾杯のご発声で始まり、昨年同様、《同期を中心としたグループ》に加え、《キャリア・子育て》、《旅行・地方創生》、《生成AI・テクノロジー》、《企業経営と組織づくり》等のテーマ別テーブルで、参加者間の活発な情報交流、意見交換が行われた。

最後に、来年の支部総会は、2026年5月9日(土) 16:00～19:00に、KKRホテル東京10階「瑞宝」で開催 是非ご参集を!

西川 浩（昭和57年卒）



集合写真



集合写真

京都大学経済学部同窓会東京支部
第34期（2024年度）東京支部収支決算書

収支決算書（2024年4月1日～2025年3月31日） （単位：円）

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
イベント収入	1,360,000	イベント経費	1,900,007
		事務費・会費	435,597
支部活動援助金（本部）	500,000	振込手数料	7,590
支部活動援助金（会員）	235,000		
預金利息	585		
≪小計（第34期収入額）≫	2,095,585	≪小計（第34期支出額）≫	2,343,194
前年度繰越金	5,013,751	剰余金（次年度繰越金）	4,766,142
合計	7,109,336	合計	7,109,336

(注1) イベント収入は、①支部総会924,000円、②若手向けイベント184,000円、③新春経済交流会252,000円の3件の合計。
(注2) イベント経費は、①支部総会1,461,822円、②若手向けイベント160,633円、③新春経済交流会277,552円の3件の合計。
(注3) 単年度の総収支は31期は113,909円、32期は▲80,932円、33期は▲45,176円であったが、34期は▲247,609円となった。収支が悪化したのは資料は郵送したが寄付は総会時のみとしたため。今期より郵送をやめるため解消する見込み。

財産目録（2025年3月31日） （単位：円）

種別	預入先	金額
定期預金	りそな銀行日本橋支店	4,002,480
普通預金	りそな銀行日本橋支店	369,904
普通預金	三菱UFJ銀行日本橋中央支店	393,758
合計		4,766,142

京都大学経済学部同窓会
東京支部長 柄澤康喜殿

第34期支部会計監査報告

京都大学経済学部同窓会東京支部収支決算書（2024年4月1日より2025年3月31日）
についての監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

京都大学経済学部同窓会東京支部

監事 香川隆祐
監事 福武正廣

近畿支部からの便り

2024年度、支部講演会と総会を開催しました。支部講演会は令和6年9月2日(月)大阪ガス御堂筋東ビル3Fホールにて開催しました。講師は著述家の「楠木新」氏で、講演会テーマは『「いい顔」で生きる』でした。講演中のお話で注目されたのは、自分の自由になる時間は、「黄金の15年」「プラチナの期間」を合わせると具体的にどのくらいの時間になるかというお話でした。ご講演を拝聴して、「黄金の15年」「プラチナの期間」の8万時間を「いい顔」で生きることができるよう、多くの時間を与えられたことを感謝しながらこれからの人生を歩んでいきたいと感じることができました。講演会の開催方式は今回もハイブリッドで開催し、参加者33名(リモート参加8名を含む。)でした。

2024年12月13日には支部総会・講演会を大阪ガス本社ビル3階ホールで開催しました。同窓会本部からは同窓会理事長で大学院経済学研究科長・経済学部長の若井克俊先生、同窓会常務理事で経済学研究科教授の田中彰先生、経済学研究科教授の諸富徹先生、経済学研究科教授の坂出健先生もご出席いただき、来賓の皆様を含め28名の方にご参加いただきました。理事長の若井先生には冒頭ご挨拶いただくとともに、経済学部の財政状況や今後の課題、同窓会本部の活動などについてもお話しいただきました。講演会には諸富徹先生にご登壇いただき「税という社会の仕組み」という演題でご講演いただきました。日本では税に対しては苛斂誅求のようなイメージが強い。つまり税金を払うのは、権利ではなく義務であるというイメージだ。それでは世界の歴史から税を考えていくとどうか。ホプズやロックが登場した時代から社会契約説が主張さ



全員で記念撮影

れはじめ、王権神授説が支配力を失うとともに私有財産制が始まった…など非常にタイムリーで興味深いお話を聴くことができました。懇親会は8階ガスビル食堂にて行われ、参加者は28名(出演者2名、来賓4名を含む)でした。懇親会の後半では京都大学文化サークル観風会さんによる和楽器の演奏となり、参加者皆が聞き入るほどの盛り上がりでした。

梅谷 幸弘 (平成3年卒)

今年度の活動予定 (詳細は別途ご案内致します。)

- 支部講演会
未定 (決定次第別途ご案内いたします。)
- 支部総会・講演会・懇親会
日時: 12月12日(金) 17:30
場所: 大阪ガス本社ビル

京都大学経済学部同窓会近畿支部
令和6年度(2024年度)近畿支部収支決算書

収支決算書

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
支部助成金	500,000	近畿支部講演会講師謝金	50,000
		近畿支部講演会開催費	249,700
近畿支部講演会懇親会収入	66,000	近畿支部講演会懇親会費	114,290
		近畿支部講演会講師等謝金	80,000
近畿支部総会収入	129,000	近畿支部総会懇親会開催費	226,160
		近畿支部総会開催費	72,050
預金利息	807	ホームページ維持費	6,600
		振込手数料	2,365
雑収入※	60		
収入計	695,867	支出計	801,165
前年度繰越金	1,426,888	次年度繰越金	1,321,590
合計	2,122,755	合計	2,122,755

※雑収入の60円は、令和6年12月19日の総会費用差額を97,160円引き出すべきところ97,100円を引き出したため実質60円の寄付となる。

財産目録

種類	預金先等	金額	摘要
普通預金	三井住友銀行大阪本店営業部	1,321,590	
現金		0	
合計		1,321,590	

京都大学経済学部同窓会 支部長 梅谷幸弘 殿
令和6年度(2024年度)近畿支部会計 監査報告
収支決算書及び財産目録について、監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。
令和7年6月20日 京都大学経済学部同窓会近畿支部 会計監事 林信博
令和7年6月20日 京都大学経済学部同窓会近畿支部 会計監事 内田博司

名古屋支部からの便り

2024年10月1日(火)18時、名鉄グランドホテル(名古屋駅前)において、名古屋支部の総会・講演会・懇親会が開催されました。参加者は会員25名、来賓として依田高典教授(京都大学大学院経済学研究科)と事務局の田村利恵様の2名を含む計27名で、終始和やかな雰囲気の中で進行了ました。

総会では、室賀支部長の挨拶に続いて、高塚理事が支部活動報告を行いました。2023年7月に幹事が交代し、開催時期を夏から秋に変更したことや、デジタル技術を活用して支部運営の効率化を図ったことが報告されました。また、会計報告が行われるとともに、会計責任者および監事の交代が発表されました。



依田教授の講演

講演会では、依田教授による「行動経済学から見るAIの未来」をテーマとした講演が行われました。教授は、生成AIが引き起こす社会問題やその影響について具体例や研究成果を交えながら分かりやすく解説されました。

また、「今後10年間、この研究をさらに深めたい」との抱負を表明され、参加者からは「ノーベル賞に値する」との声も上がるなど、内容の充実ぶりに感銘を受けている様子でした。

懇親会では、田島副支部長の乾杯の挨拶で幕が開き、依田教授から京都大学の近況報告がありました。その後、1998年卒業の竹内純氏が「被災地サウナ支援NPO」についてスピーチを行い、震災時のテントサウナ活用事例として、避難所での採暖や個室の確保、トイレや談話室としての利用例が紹介されました。参加者は熱心に耳を傾けていました。



全員で記念撮影



依田教授の講演に聞き入る参加者

最後に、恒例となっている「琵琶湖周航の歌」と「逍遙の歌、紅もゆる」の合唱



肩を組んで合唱

が行われ、肩を組んで歌い、一体感を感じるひとときとなりました。懇親会は、伊藤副支部長の中締め挨拶で締めくくられ、次回の再会を誓いつつ閉幕しました。

井神 忠 (昭和61年卒)

京都大学経済学部同窓会名古屋支部 令和5年度 名古屋経友会会計報告書

収支決算書 (R5.4.1~R6.3.31)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
名古屋支部総会収入	224,000	支部総会経費	597,626
支部活動援助金	350,000		
預金利息	1		
(小計(5年度収入額))	574,001	(小計(5年度支出額))	597,626
前年度繰越金	208,251	剰余金(次年度繰越金)	184,626
合 計	782,252	合 計	782,252

(注) 収入の部の支部総会収入は、令和5年7月4日開催分で、会費7,000円×32名分。

財産目録 (R6.3.31)

種 類	預 入 先	金 額	摘 要
普通預金	三菱UFJ銀行名古屋営業部	184,626 円	
合 計	計	184,626 円	

監査報告

収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。

令和 6 年 4 月 17 日

会 計 監 事

宮田尚芳 

愛媛支部からの便り

京都大学経済学部同窓会の愛媛支部例会（総会及び懇親会）は、コロナ禍により4年間の中断の後、昨年に再開しました。そして、引き続き止むことのないように、令和7年3月9日（日）に、令和6年度の例会を開催いたしました。

尚、会場は昨年度より、伊予銀行松山保養所からANAクラウンプラザホテル松山に変更しており、開催時間も料理人等の人手不足から、夕刻での開催が難しくなり、昼の時間帯での開催としております。

●総会・懇親会

今回の例会は、初参加の2名を加え、10名の同窓生に参加していただきました。

総会の冒頭では、支部長の村田武氏（昭和41年卒、元愛媛大学）から開会挨拶のほか、本会の継続や活性化などが提言されました。

続いて、同窓生の鈴木茂先生（昭和48年院修了、松山大学名誉教授）より、英国のバーミンガムの都市再生についてお話いただきました。わが国でも、地方都市が人口減少や経済の活力低下に直面していることから、皆さんにとっても身近な問題として、応答を交え、とても興味深く聞き入りました。

続いて懇親会に移り、初参加の方もいっしょだったことからお互いに自己紹介や近況をコンパクトに報告しあい、場を盛り上げました。

最後に村田支部長を囲んで記念写真を撮り、次回の再会を誓って閉会となりました。

●メンバー

愛媛支部の例会には長年15名程度参加していただいておりますが、コロナ禍の影響も続いており、参加



2025年3月9日 於；ANAクラウンプラザホテル松山

人数が10名程と少なくなりました。また、依然として、参加者は高齢者が多く、先細りを懸念しております。

今後は一段と、若い同窓生への積極的な働きかけとともに、同窓会本部・他支部との連携を図って、同窓会への参加者増加に努めていきます。

●連絡先

現在、愛媛県に在住の皆さま、また転居等で今後ご来県の皆さまは、是非ともご連絡をいただき、愛媛支部同窓会の総会・懇親会への参加をお願いします。

愛媛支部連絡先

梶原 正秀（昭和50年卒）

〒791-8084 愛媛県松山市石風呂町355

TEL・FAX

089-952-4857

メールアドレス

kajiwara.masahide@maroon.plala.or.jp

京都大学経済学部同窓会愛媛支部 令和6年度 愛媛支部会計報告書			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
愛媛支部総会収入	9,000	支部総会経費	65,400
支部活動援助金	0	通信費	4,625
預金利息	469	事務費	0
(小計(6年度収入額))	9,469	(小計(6年度支出額))	70,025
前年度繰越金	586,868	剰余金(次年度繰越金)	526,312
合計	596,337	合計	596,337

財産目録 (令和7.3.31)			
種類	預入先	金額	
普通預金	伊予銀行本店営業部	526,312	
合計		526,312	

監査報告
収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。

令和7年4月7日
会計監事 梶原 正秀

九州北部支部からの便り

● 会員数

260 名程度

地元企業・自治体等への就職者を中心に、東京・大阪に本社を置く企業の九州北部地区勤務者等により構成。

● 活動状況〔総会・懇親会〕

毎年5月に年1回の総会・懇親会を開催。支部の財政が厳しいこともあり、今年は会場をホテルのレストラン(ホテルニューオータニ博多「大観苑」)に変更。5月14日に開催し、16名の同窓生、そして来賓として同窓会本部事務局の田村利恵さまにご参加いただいた。

総会では、葉真寺偉臣支部長(昭和51年卒。今回総会でご退任)による開会挨拶の後、大学・大学院の近況や同窓会の現状などについて、同窓会本部からいただいた情報を基に司会者から紹介を行った。その後、役員改選を行い、田中剛弘新支部長(平成3年卒)の選任が全会一致で承認され、新支部長からの就任ご挨拶をいただいた。なお、2年間支部長を務めていただいた葉真寺偉臣前支部長には、万雷の拍手が送られるとともに、同窓会本部事務局の田村利恵さまより記念品の贈呈が行われた。

懇親会では、鎌田迪貞氏(昭和33年卒)による乾杯の後、恒例行事である参加者からの近況報告が行われ、全参加者が仕事や私生活での出来事、学生時代の思い出などを報告しあい、懇親を深めた。最後に、今回参加いただいた中で最年少の栄留豊氏(平成27年卒)による万歳三唱と記念撮影を行い、会を終えた。

今回の総会・懇親会も、新規参加者や数年ぶりの参加者もいらっしたこと、大変な盛り上がりを見せた。

一方、若手が減り、参加者の平均年齢も回を重ねる



九州北部支部総会 集合写真

ごとに右肩上がりとなっている現実がある。来年以降も、今までの繋がりはもとより、新たな繋がりを生み出し、ますます会が盛り上がるよう、本総会以外の懇親会の開催や、同窓会本部・他支部との連携を図るなど、同窓生の掘起こし、および総会・懇親会への新規参加者増に引き続き努めていきたい。

● その他

同窓生の皆さまにおかれましては、九州への就職、赴任、転居等の機会がありましたら、是非ご連絡をお願いいたします。

二宮 渉 (平成21年卒)

九州北部支部連絡先

九州電力株式会社 秘書室 二宮 渉

〒810-8720 福岡市中央区渡辺通2丁目1番 82 号

Tel: 092-761-3031 Fax: 092-761-6944

Eメール: Wataru_Nimiya@kyuden.co.jp

令和6年度 九州北部支部 会計報告書

収支決算書 (R6.4.1~R7.3.31)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
九州北部支部総会収入 (注1)	156,000	支部総会経費 (注2)	256,410
支部活動援助金	100,000	通信費	18,900
預金利息	155	事務費	27,452
(小計(令和6年度収入額))	256,155	(小計(令和6年度支出額))	302,762
前年度繰越金	387,133	剰余金(次年度繰越金)	340,526
合計	643,288	合計	643,288

(注1) 収入の部「支部総会収入」は、令和6年5月22日開催の支部総会会費収入分※

※10,000円×15名、6,000円(料理のみ)×1名

(注2) 支出の部、「支部総会経費」は、支部総会開催費用(会場賃借料、消耗品代、飲食代)分

財産目録 (R7.3.31)

種類	預入先	金額	摘要
普通預金	福岡銀行 渡辺通支店	340,526	
合計		340,526	

監査報告

収支決算書および財産目録について、監査の結果、正確且つ適正であることを認めます。

令和7年4月15日

会計監事

井上 兵吾

九州南部支部からの便り

令和6年7月20日(土)、第25回九州南部支部総会が宮崎市のホテルメリージュにて開催された。前回の宮崎県での開催は、令和元年7月6日となっており、新型コロナウイルス感染症の影響により、1回の中止があって、5年ぶりの開催となった。5年の間に、宮崎駅に商業施設アミュプラザ宮崎が開業するなど、駅前の様子が随分変わったことに驚かれた県外出席者も多かったと思う。当日の総会出席者は12名であった。

開会にあたり、支部長である林田素行氏(昭和44年卒)が挨拶を行い、続いて、支部総会に関する事項、役員体制、令和5年度の収支の状況の報告が行われた。次に、京都大学大学院経済学研究科・経済学部教授であり同窓会の常務理事の田中彰教授から、「京都大学経済学部の現況および同窓会本部報告」をいただいた。



出席者が楽しみにしている講和については、田中彰教授より「六大企業集団の無機能化一掃り場のビジネスグループ」を演題に講和を頂いた。三菱、住友、三井、芙蓉、三和、一勧の6大企業集団が、グローバル化の進展、金融機関の再編等により、変遷していったことなど、出席者も皆、熱心に聞き入り、講和終了後には多くの質疑応答がなされた。講和終了後は懇親会となった。懇親会は、岡野徹氏(昭和38年卒)の乾杯により開宴。歓談の時間には、近況や学生時代の思い出話に花が咲き、時折笑い声が響き渡る場面もあった。久しぶりに顔を合わせた出席者たちは、過ぎ去った時間を超えて瞬く間に再び絆を深め合っ

いた。また、来賓者として、元宮崎市長の津村重光氏(京都大法学卒)にご出席いただいております、貴重なお話を伺うことができた。

終了間際には、全員で「琵琶湖周航の歌」を合唱し、次年度の再開を誓い合いながら盛会のうちに幕を閉じた。「また次回の再会を楽しみにしています」との言葉を交わしながら、参加者はそれぞれの道へと戻っていった。

村上 秀幸(平成5年卒)



京都大学経済学部同窓会九州南部支部 令和5年度 会計報告書

収支決算書 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

収 入 の 部		支 出 の 部	
目 的	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
九州南部支部総会収入	120,000	支部総会経費	201,067
支部活動援助金(本部より)	100,000	謝 金	30,000
預 金 利 息	2	通 信 費	9,441
		事 務 費	36,080
		雑 費	6,633
(小計(当年度収入額))	220,002	(小計(当年度支出額))	283,221
前年度繰越金	313,511	剰余金(次年度繰越金)	250,292
合 計	533,513	合 計	533,513

財産目録

種 類	預 入 先	金 額 (円)	備 考
普通預金	肥後銀行東支店	250,292	
合 計		250,292	

上記について監査の結果相違ありません。
令和6年5月2日

会 計 監 事 丸野 徹 氏 (印)

E2(1962年入学) 有志のカニ旅行

2月18日～20日、教養時代のクラスメート6人で山陰海岸国立公園の七釜温泉（「夢千代日記」の舞台となった湯村温泉の隣）と城崎温泉に遊んだ。メンバーのうち、大阪枚方に住む吉村昭道君、名古屋の森川章君、関東在住の天下晃生君、津田昌宏君と私（熊倉道雄）の5人は、阪急三番街のバスターミナルに集合し、現地まで約3時間のバス旅行で現地に向かい、島根県安来からの但見靖啓君と合流した。

今回の旅行は、津田昌宏君の東大博士論文「アメリカの校長のリーダーシップ」の出版記念会を兼ねて、温泉とカニ料理で久方ぶりに旧交を温めよう企画されたものだった。

津田君は銀行員時代、米国で15年にも亘るといふ豊かな駐在経験の持ち主。また、米国の学校教育事情

にも詳しく、ビジネスと教育の両面における日米の差異に関して、強い問題意識の持ち主だったところから、仕事人生をリタイアした後は、還暦を目前に大学院進学を志す。以来、四半世紀に及ぶ研鑽を経て、このたび、大著の刊行という偉業を成し遂げられた。

米国では、日米貿易摩擦が深刻だった1980年代以降、このままではダメになるとの危機感から、教育改革運動が巻き起こる。生徒にとっての“本物の教育”とはどういうものなのかを追い求める努力が続いた。本書はこれを丹念に追う。初めて知ることの多い、大変興味深い米国の教育史である。

大部屋に戻れば、6人の雑魚寝！津田君の話やお互いの近況、内外情勢その他諸々、気兼ねなく語り合っ

た。語るほどに聴くほどに、懐かしい思い出がよみがえり、まるで、青春時代に戻ったかのような3日間だった。

企画段階から旅程宿泊先その他アレンジメントはすべて、現地事情に滅法明るい、名オーガナイザー吉村君にやっていただきました。心より感謝です。

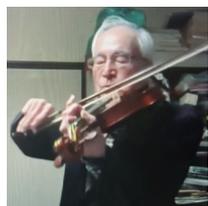
文責：熊倉 道雄（昭和41年卒）



野澤正徳先生

九十歳 サクセスフル・エイジング 御祝いの会

九十歳を迎えられた京都大学名誉教授 野澤正徳先生の御祝いの会「サクセスフル・エイジング お祝いの会」を2025(R.7)年3月9日、ゼミ同窓会を兼ね Zoom方式で開催しました。野澤ゼミナールの学部1期生をはじめ延べ40名が参加しました。当日は、2年前の「米寿の会」と同様、野澤正徳先生による歓迎演奏（ゴスペル「アメイジング・グレイス」とシューベルト「菩提樹」）で幕



を開け、参加者の近況報告と抱負が紹介されました。その後、野澤先生から「これからの方向」と題して、御講話がありました。

冒頭、先生は、「今も、世界と日本で、戦争や災害や事故により、不条理に命を奪われる多くの方々がおられることに、心からの追悼の思いを捧げます」と話され、その後、「90歳代の歩き方」として、「90歳代は老衰ではなく、アクティブ・エイジング！サクセスフル・エイジング！」というものであり、その健康法として、1)歩く（運動すること）、2)食事（奥様のおかげ）－バランスよく、大食しないこと、そして、3)知的刺激－音楽、すなわち、ピアノ、ヴァイオリン、合唱団の実践について語られました。

また、「高齢者の話し場としての－高齢者の 高齢者による 高齢者のための ホームページ（ウェブサイト）を立ち上げ、つれづれの感想や写真をのせること」を語られました。

関連して、「基本情報技術者」資格を取得することも目標に、その予備段階として「ITパスポート」資格試験を受けることを宣言されました。

会の最後には、先生の伴奏で、「紅萌ゆる」を合唱し、心を一つにしました。

先生は、「次回の 交流会は、10年後、2035年3月18日（日）ごろ 生成AI・ZOOM？を用いてしませんか？（笑）」と提案されました。

当日の参加者は、野澤先生の未来を見る視点と現在の生き方の結びつきを確認し、また、学生時代からの教え「自分に限界をつくることなく「挑戦する精神」、その大切さを改めて感じました。

先生は、その後、「ITパスポート」試験に合格し、その資格を取得されました。

幹事 中野 正巳（昭和45年卒）
庄司 正明（昭和52年卒）
藤江 昌嗣（昭和53年卒）
奥田 英生（昭和54年卒）



2024年12月22日開催

「東京一一会」実施のご報告

故小野一一郎（かずいちろう）先生のゼミの同窓会があり、「一一（いちいち）会」と呼ばれています。小野ゼミは、1960年の開始以来、1962年の第1回卒業生から最終の第28回（1989年卒）まで、239名在籍していました（現在は逝去者が24名となり、215名の在籍となっています）。1989年に小野先生が退官されたのを機に、一一会が発足し、京大退官記念（1989年）と先生古希のお祝い（1995年）の会が同窓生全員を対象として開催されました。先生は、残念ながら1996年に71歳で逝去されましたが、その後も偲ぶ会や奥様の米寿のお祝いの会等で8回開催されています。先生と奥様をお慕いする強い気持ちがゼミ生が集まる求心力となっています。その分科会としての東京一一会は、関東地方のメンバーを中心に2014年に発足し、今回で4回目の開催となります。

さて今回は、学士会館が老朽化による再開発のため2030年まで閉館されるのを機に、久しぶりに集まることとなりました（コロナ以降初です）。師走にも関わらず、1回から28回まで39名の出席となりました。先



ずは大阪から特別参加の全体幹事である吉村昭道さん（5回）による小野ゼミの歴史や現況そして先生の叔父の詩人小野十三郎さんに関するご報告等がありました。メンバーの近況報告では、初期の方々から現役世代の方々まで多くの方が話され、やはり小野先生の人柄に関わるエピソードが随所で語られました（「働き過ぎたらあかんで〜」の口癖も）。また18回の垣内威彦さん（現・三菱商事会長）や20回の櫻野泰則さん（現・熊谷組会長）からは、最近のリアルな日本経済の状況や見通し等に関するお話もありました。格式あるホールでの記念撮影をはさみ、3時間に及び盛会となりました。参加者から差し入れ（日本酒「福寿」とお菓子「熊谷グミ」）もいただき、和やかな会は名残惜しく終了しました。

川口 正義（昭和52年卒）



昭和 49 年卒業生 京都大学経済学部卒業 50 周年記念同窓会

1 年以上前から始まった準備活動

同窓会の準備が始まったのは令和 5 年 10 月後半のある日のこと。筆者の奥田と久米川武士さんの二人からスタートした「50 年の時空プロジェクト実行委員会」は、最終的には 20 人の幹事団により準備を進めました。1 年以上の準備期間を経て、晩秋の令和 6 年 11 月 28 日に、京都大学百周年時計台記念館 2 階の国際交流ホールを会場にして盛大に開催されました。幹事団の中心になったのは、クラス主幹事の耕章さん、久米川武士さん、堀井滋さん、博多一恭さん、渡哲郎さんと私の 6 人で、節目ごとに ZOOM 会議を開き、開催案内、当日のシナリオなどを確定していきました。

幹事団全員で名簿作りに注力、57 名が参加

今回の同窓会の対象者は、45 年入学者の 222 名とその他の 49 年卒業生の 38 名の合計 260 名。事務局から提供された名簿を手掛かりに、幹事団のネットワークを駆使して連絡先の情報収集に当たり 165 名の連絡先を突き止めました。63 名の連絡先が最後まで不明でしたが、死亡が判明した方 32 名と合わせて 197 名の消息が判明しました。そうした努力の結果、当日の参加者は 57 名となりました。

50 年の時空を超えて交流できた喜び

同窓会は 2 部で構成し、12 時 45 分開始の第 1 部ではクラス別の写真撮影を行い、逝去された 32 名の方

に黙祷を捧げました。来賓には、若井克俊経済学部長、田中彰教授、同窓会事務局の田村利恵さんと山田浩之様、池上惇様、野澤正徳様の 3 人の恩師にご出席いただきました。第 1 部のメインは、実行委員長の有賀健さんによる「自営業者の近代～失われた 30 年を地方都市から振り返る」と題した記念講演でした。第 2 部の懇親会は 14 時から開始。堀井滋さんと山本明夫さんの二人の司会により、恩師からのお言葉、参加者からのスピーチなどで瞬間に時間が経過し、最後に「50 年の時空を超えて」再会できたことを喜びながら、琵琶湖周航の歌を全員で輪になって斉唱し、名残惜しい中、16 時に終了しました。

報告 奥田 久美 (昭和 49 年卒)



木原ゼミ 正正会

昨年7月13日(土)第8回総会は楽友会館に22名が参加。北島健一立正大学教授の講演『連帯経済の問うもの～モラルエコノミーの復権～』。買い物難民のための移動式スーパー、地域住民による互恵的な在宅介護サービス、急増する子ども食堂、振興組合主導の商店街の再建、など互酬的な「連帯と自治」の活動が日本でも世界でも広がっている。国連等の国際機関でも「社会的・連帯経済 (Social and Solidarity Economy)」の呼称が使われ、非資本制的な企業組織あるいは所有形態 (コモン) への注目も大きい。お金を稼ぐことそのもの (際限ない) を駆動力とする経済活動 (Money Economy) から、人間

の基本的ニーズの充足 (際限ある) を駆動力とする経済活動へ。木原先生の仰った「理念・規範が大事」との言葉が思い起こされる。

懇親会では「資本論の読破に挑戦中」「木原先生はじめ先達の仰ったことを、この歳になってやっと少し理解できるようになった」との発言が数々。

今回は2026年10月の平日。

深田 弘明 (昭和53年卒)

E-mail:hiroakifukada1955@gmail.com



ゼミ会を発足される方への支援制度

経済学部同窓会では、退官・退職された先生方のゼミ会を発足・復活させようとお考えの方に、ゼミ会立ち上げにかかる通信費用 (案内状の送付費用等) を一部支給する支援金制度を導入しました。軌道に乗るまではゼミ会の財政が安定しないため、発起人・幹事の方がやむなくご負担されるケースもあるとお聞きし、少しでもお役に立てれば幸いです。

予算の都合上、以下のような要領で運営いたしますので何卒ご理解ご協力をお願いいたします。

用途	ゼミ会発足にかかるゼミ生への通信費等
金額	ゼミ会1回につき実費あるいは3万円のいずれか少ない額、最大3回まで支給。
お約束	ゼミ会開催の様子を「同窓会報」に必ずご寄稿ください。

ホームページの紹介

住所不明者の情報をお寄せください

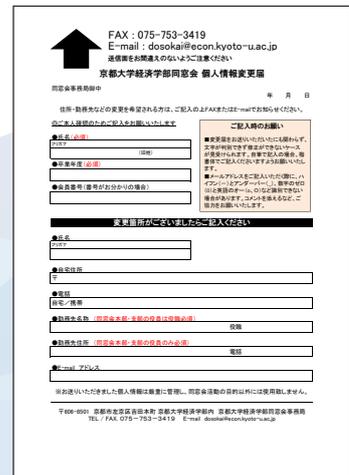


図1



クリック▶図1 クリック▶図2

住所不明者一覧パスワード・・・

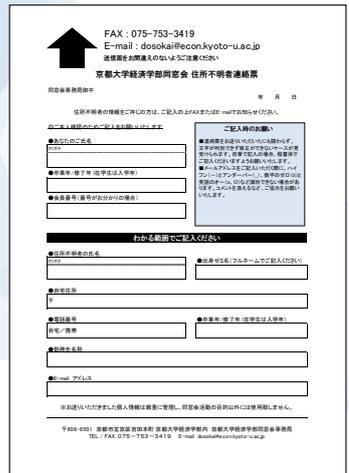


図2



同窓会員の皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか。日頃は京都大学経済学部同窓会の活動につきまして、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ようやくコロナ禍も下火になり安心して支部総会等のイベントが開催できるようになりましたが、一方で同窓会の「財政難」はまだ続いております。

そのため数年前から大幅な経費削減を実践しております。今年は「過去3年以内に年会費を納めていただいた方」のみ、同窓会報を発送する」ことが昨年の総会で決まりました。

しかしながら、年会費の収入が年々減少傾向にありますので、「財政難」が未だ続いている状況です。

年会費を納めていただいている方々に対して更にお願いをするのは大変心苦しいのですが、今年から寄付金専用の払込用紙も同封しておりますので、少しでもご協力くださいますと幸甚に存じます。

どうかより一層のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

京都大学経済学部同窓会事務局 田村 利恵



3つの方法で納入可能に!!

同窓会年会費 納入のお礼とお願い

－ 納入方法:郵便局・コンビニ・アプリ－

経済学部同窓会の活動は、会員の皆さまよりいただく年会費によって成り立っております。
過年度の年会費を納入していただきました皆さま方に、心より御礼申し上げます。

令和7年度(令和7年4月～令和8年3月)の年会費5,000円を、お納めいただきますよう、よろしく
お願い申し上げます。

※郵便局でのお支払いに加えて、昨年よりコンビニ・アプリでの支払いも可能となりました。
バーコード付き(同封)の払込用紙は郵便局でもこれまで通りご利用いただけます。

※**コンビニ・アプリでのお支払いに限り、支払期日がございますのでご注意ください(2025年10月31日)。**
郵便局でのお支払いには、納入期日はございません。

※この払込用紙では住所変更等が不可ですので、必ず同封の「連絡先変更届」専用のQRコードから
お手続きください。

※アプリ決済方法につきましては同窓会HP「お知らせ」→「スマホ・アプリ決済」からご確認ください。

郵便局

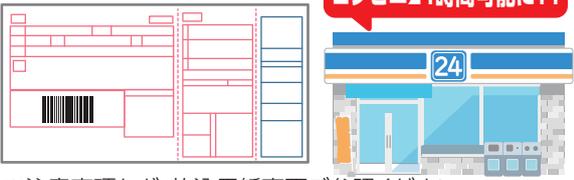
従来通り、同封の払込用紙を郵便局へ



従来通り!!

コンビニ決済サービス

払込用紙の裏面にお支払いできるコンビニ名が記載されています。
払込受領証を大切に保管してください。



コンビニ24時間可能に!!

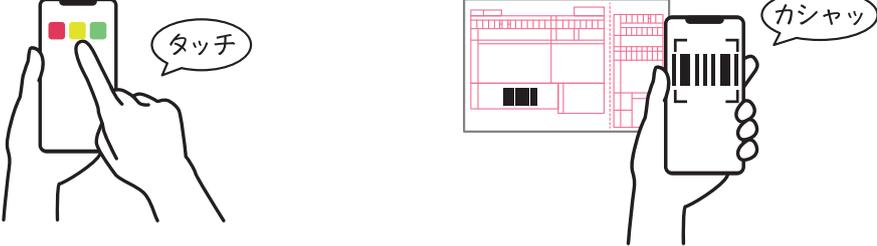
※注意事項など、払込用紙裏面ご参照ください。

アプリ決済サービス

払込票のバーコードをスマートフォンのアプリで読み込むだけで、「いつでも・どこでも」お支払いができるので、とても便利です。

どこでもスマホで決済!!

STEP 1 スマホでアプリを起動 **STEP 2** バーコードをスマホアプリで読み込み!



タッチ カシヤッ

ご利用可能なアプリ決済サービス ※アプリ使用方法は各アプリにより若干異なります。ホームページでご確認ください。

				
---	---	---	--	---

ご注意 ※決済可能金額が制限されている場合があります。※上記内容は予告なく変更となる場合があります。

アプリ決済サービスでお支払い後、コンビニ店頭などでお支払いされないようご注意ください!

同窓会へのご寄付のお礼とお願い

御礼

◆令和6年11月に行われました「卒業50周年記念同窓会」(昭和49年卒の方々)より29,470円をご寄付いただきました。

◆令和7年5月に行われました経済学部卒業生「有志の会」の方々より34,000円をご寄付いただきました。

◆その他、個人的にご寄付いただきました(お名前は非掲載を希望されております)。

皆さまからの寄付金は「同窓会活動の資金として」大切に使用させていただきます。
この場をお借りし、ご寄付いただきました皆さまへ心より御礼申し上げます。

ゼミ会クラス会等の余剰金を同窓会へご寄付いただきますと大変有難く存じます。ご寄付いただいた個人・団体のお名前を会報・ホームページにてお伝えいたします。

ご寄付の手続き方法 (3パターン)

- ①同梱した「寄付専用払込用紙」をご利用ください(払込手数料同窓会負担)。
- ②ゆうちょ銀行 四四八店(ヨンヨンハチ) 普通 4554132 京都大学経済学部同窓会
※間違い防止のため、お名前の前に会員番号を付けてお振込み願います。
- ③直接、同窓会事務局へお越しいただいてもかまいません。

名簿リスト提供サービス

ゼミ会・クラス会にご利用いただくよう、同窓会で管理している最新の名簿リストを提供しております。ご希望の方は同窓会事務局にご連絡ください。

●名簿リスト送付についての注意事項●

- ①基本的には「ゼミ会」「クラス会」をされる幹事の方に対して該当年度の最新版「名簿リスト」を提供しております。
- ②特別な事情がない限りお一人につき年1回の送付とさせていただきます。
- ③「名簿リスト」が必要な方は利用目的を明確にしてください。利用目的・ご本人確認ができ次第、郵送いたします。
セキュリティ上、メールでの送付は承っておりません。

※ただし、当サービスは「その年度の年会費納入者のみ」とさせていただきます。

ご寄付・名簿リスト・会報記事についての
お問い合わせは同窓会事務局へご連絡ください。

TEL①/FAX : 075-753-3419
TEL② : 075-753-3508
Email dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp
月・火・木・金 10:00~16:00 (水・土日祝/休)

ご注意ください！

同窓会では「卒業生名簿(冊子版・CD版)の配布」は現在行っておりません。

卒業生名簿(冊子・CD版)の配布は平成27年度版を最後に廃止となりました。

同窓会では名簿作成を外部業者に委託することはありません。

過去に、卒業生各位に対して個人情報の提供と同窓名鑑の購入を呼びかける業者がありました。京都大学経済学部および経済学部同窓会が外部の業者を通じて個人情報の提供を求めることはございません。

転居等による住所不明にならないために

転送期間は1年間です。転送期間終了後はすべての郵便物が差出人へ返還されます。

パターン1・2でお願いします

パターン

1 新住所を連絡先等変更届・メール・お電話にてお知らせください。

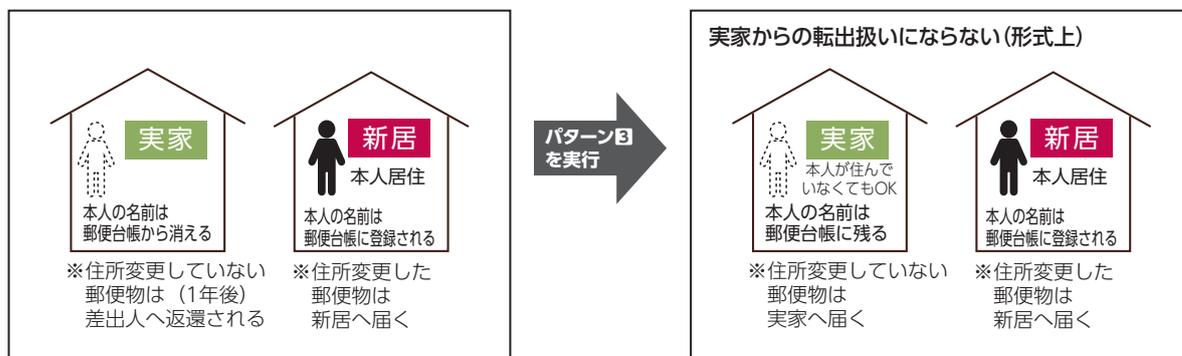
パターン

2 実家に居住していないが、実家に郵便物を届けたい方は、ご親族等（1名）のフルネームをメール・お電話にてお知らせください。連名で差し出すと実家へ届きます。

パターン1・2が困難な場合

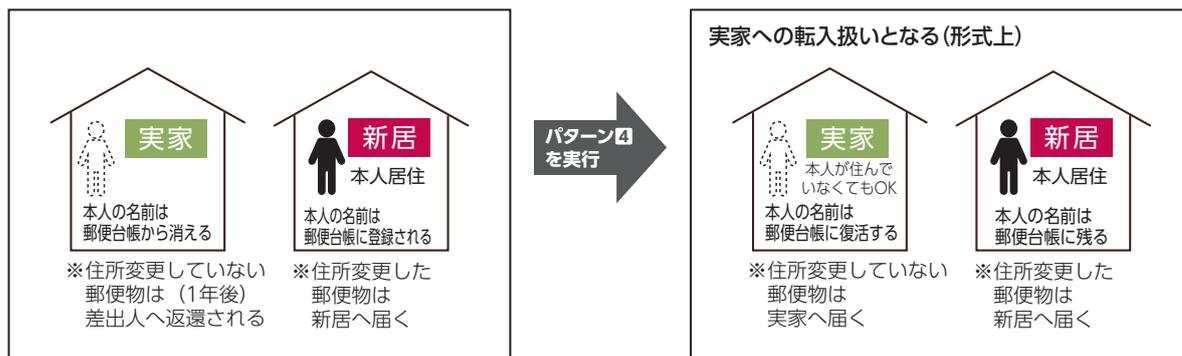
パターン

3 これから郵便局へ転居届を出される方 [市区町村の転居届ではありません]
転居届の旧住所欄に「実家住所」を記入しないでください。



パターン

4 すでに郵便局へ転居届を出された方 [市区町村の転居届ではありません]
もう一度郵便局へ転居届を出してください。その際、新住所欄に「実家住所」を記入してください。
※旧住所欄には何も記入しないでください



実家に届いた郵便物を無料で転送できます

※ただし、転送されて来た郵便物を他の住所へ再転送はできません。



ご注意

卒業後、下宿先から転居された方は、旧住所欄に下宿先を書き、新住所を必ず同窓会事務局までメール・お電話にてお知らせください。

上記はいずれも日本郵便(株)に確認済みです。

目 次

令和7年度 総会開催案内	表2
オンライン経済懇話会	1
同窓会会長挨拶 柄澤康喜	2
教員の紹介	3
卒業生だより	4
出版案内 依田高典	6
VISAカード入会ご案内	7
在学生イベント！2024	8
令和6年度 同窓会総会開催報告	9
ソフトボール部紹介	10
ゼミ紹介(諸富ゼミ)	11
収支決算書、本部役員名簿	12
各支部からの便り	14
クラス会・ゼミ会・卒業50周年記念同窓会	21
事務局通信・ホームページ紹介	25
会費納入のお願い等	26
住所不明にならないために	28
広告	29
東田さんのパズル	表3

京都大学経済学部同窓会報 No.28

2025年8月1日発行

発行 京都大学経済学部同窓会事務局
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL・FAX (075) 753-3419

編集・印刷 株式会社レジリエンス
〒520-3015 栗東市安養寺1-2-7-102
TEL (077) 553-0888
FAX (077) 553-6688

CHALLENGE

Dr.HIGASHIDA's PUZZLE

— 東田さんのパズルに挑戦 —

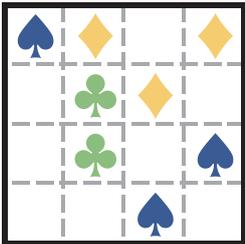
パズルが解けた方は、「Googleフォーム(総会出欠回答)」に答えをご記入下さい。

正解者の中から抽選で10名様に総会でお配りしている **同窓会オリジナルグッズ(4点セット)**をプレゼント!

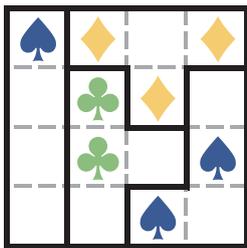
絵ブロック

点線に沿ってマス目を4マスずつのブロックに分割してください。
1つのブロックの中には、一種類のマークだけが入るようにしましょう。

例題

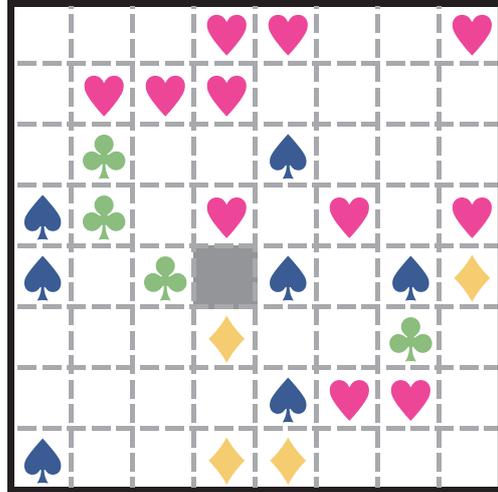


例題の答え



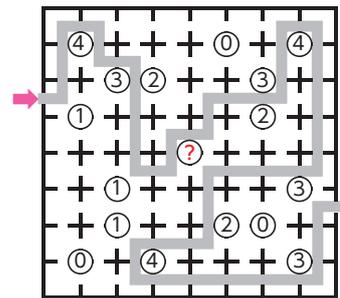
問題

グレーのマスが含まれるブロックのマークは、スペード・ハート・ダイヤ・クラブのうちのどれでしょう?



前号の
パズルの答え

4



前号の当選者 ※50音順

安部 靖雄様 石原 浩様 鎌田 憲二様
駒路 美保様 西條 康様 柴田 隆史様
中村 茂夫様 温品 元伸様 服部 雅充様
三宅 秀征様

株式会社東田式パズル研究社

代表取締役社長 東田 大志



1984年生まれ。京都大学法学部に入学後、総合人間学部にて転学部して卒業。京都大学大学院人間・環境学研究科にて、日本で唯一のパズル学での博士号を取得。

2019年に起業し、京都市上京区で「京大東田式パズル教室」を運営。全国47都道府県を自作パズルのピラ配りで周り、「ピラがパズルの人」とも呼ばれる。

フジテレビの『今夜はナントレ』など、テレビ・ラジオでもパズルを出題している。

著書に『京大博士のパズルに挑戦』(京都新聞出版センター)、『京大東田式天才パズル』(青春出版社)など。

株式会社東田式パズル研究社代表取締役社長として、京大東田式パズル教室を運営。

『京都新聞ジュニアタイムズ』『朝小かぞくの新聞』『ニュースがわかる』などでパズルの連載を行っています。



『ちいかわ クロスワード
タテヨコそろってスッキリ!』
(講談社)

京都大学経済学部同窓会

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学経済学部内

TEL①/FAX:075-753-3419 TEL②:075-753-3508
(月・火・木・金 10:00~16:00 水・土日祝 休)

E-mail:dosokai@econ.kyoto-u.ac.jp

[URL](https://kyoto-u-econ-dosokai.jp/) <https://kyoto-u-econ-dosokai.jp/>